

PT・OT ビジュアルテキスト

# リハビリテーション 管理学

contents

● 序 ————— 齋藤昭彦, 下田信明

## 第1章 管理学とは

<b>1 社会科学からみた管理学</b> —————	下田信明	14
1 管理学とは何か —————		14
1) 科学と社会科学 2) 管理と管理学		
2 管理学小史 —————		15
<b>2 医療・看護における管理学</b> —————	亀井智子	18
1 医療・看護における管理 —————		18
2 看護管理の内容 —————		18
3 看護の質保証 —————		19
4 医療・看護の質管理 —————		19
<b>3 リハビリテーションにおける管理学</b> —————	下田信明	21
1 リハビリテーションにおける管理および管理学とは —————		21
2 管理および管理学の重要性が増してきている理由 —————		21
1) 日本社会の変遷 2) 成熟社会における理学療法管理, 作業療法管理の重要性		

## 第2章 理学療法士・作業療法士が勤務する 組織と関連法規

河野 眞

<b>1 組織と関連法規の鳥瞰図</b> —————		25
1 法のしくみ —————		25
1) 成文法と不文法 2) 法体系 3) 公法・私法・社会法		
2 組織と関連法規の鳥瞰図 —————		27

<b>② 各組織と関連法規の基礎知識</b>	29
<b>① 医療福祉専門職の資格と法律</b>	29
1) 医療専門職の資格と法律   2) 福祉専門職の資格と法律	
<b>② 理学療法士および作業療法士の資格と法律</b>	30
<b>③ 医療福祉に関連する組織や施設と法律</b>	32
1) 医療施設と法律   2) 高齢者介護・福祉に関連する組織や施設と法律	
3) 障害児者の支援に関連する組織や施設と法律	

## 第3章 職業倫理

牧迫飛雄馬

<b>① 倫理とは</b>	36
<b>① 倫理の定義</b>	36
<b>② 職業・専門職とは</b>	36
<b>③ 職業倫理とは</b>	37
<b>② 理学療法士・作業療法士の倫理</b>	39
<b>① 理学療法士および作業療法士の倫理綱領</b>	39
<b>② 法的責任</b>	40
<b>③ 守秘義務・個人情報保護</b>	41
<b>③ 対象者の権利・尊厳</b>	43
<b>① 人権</b>	43
<b>② 患者の権利</b>	43
<b>③ インフォームド・コンセント</b>	44

## 第4章 リスク管理

<b>① 理学療法・作業療法で起こり得る有害事象</b>	46
<b>1) 有害事象とは</b>	下田信明 46
<b>① 定義</b>	46
<b>② 医療事故</b>	46
1) 理学療法・作業療法で起こり得る医療事故	
2) 医療事故情報収集等事業（日本医療機能評価機構）	
実例 ▶ ① 医療事故防止を目的とした小規模医療施設におけるe ラーニングシステムの構築	鈴木順一
<b>③ リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン</b>	48
<b>2) 再発・合併症・疾患急変</b>	鈴木 誠 49
<b>① 動脈硬化をきたす合併症</b>	49
<b>② 高血圧</b>	50

3	脂質異常症	51
4	糖尿病	52
3)	急変時の対応	平田恵介 53
1	一次救命処置	53
2	蘇生におけるガイドライン	53
3	心肺蘇生法	54
4	外傷への対応	55
	1) 転倒 2) 人為的な外傷による骨折・損傷	
4)	感染	岡部拓大 56
1	PT・OTにとってリスクの高い感染とは	56
2	予防	57
	1) 標準予防策 2) 感染経路別予防策 3) その他の予防	
5)	転倒	鈴木 誠 62
1	転倒とは	62
2	運動機能と転倒	62
3	認知機能と転倒	63
4	複合機能と転倒	64
5	転倒歴と転倒	64
6	環境と転倒	64
	1) 手すり 2) 階段	
6)	窒息	森下佑里 65
1	概要と発生要因	65
2	予防	66
3	対応	67
	1) 発見時の流れ 2) 異物除去の処置方法 3) 喀痰等の吸引	
2	対象者・家族からのクレーム	下井俊典 71
1	対象者・家族からのクレームの要因	71
2	頻度の高いクレーム	72
	1) 言葉遣いや態度 2) 理学療法、作業療法の内容や効果	
実例▶	② 理学療法に対するクレーム対応例	金子純一郎
3	ハラスメント	下井俊典 75
1	ハラスメントの定義と分類	75
	1) パワー・ハラスメント 2) セクシュアル・ハラスメント 3) アカデミック・ハラスメント	
2	ハラスメントか否かの境界線	78

<b>3</b>	保健医療福祉の現場の特徴と生じ得るハラスメント	78
	1) 保健医療福祉の現場の特徴 2) 生じ得るハラスメント	
<b>4</b>	教育現場で生じ得るハラスメント	大西秀明 78
<b>実例</b>	➤ ③ 学生への対応において配慮すべきこと	助川文子
<b>5</b>	ハラスメントの予防	79
	1) 組織としてのハラスメント予防策 2) 個人としてのハラスメント予防策	
<b>実例</b>	➤ ④ ハラスメント防止のための工夫例	鈴木康文
<b>4</b>	職員のメンタルヘルス・マネジメント	下井俊典 82
<b>1</b>	労働者のメンタルヘルスに関する近年の動向	82
<b>2</b>	具体的な対策	83
	1) ストレス対応力を知る 2) ストレッサーを知る	
<b>実例</b>	➤ ⑤ 職員のメンタルヘルス・マネジメントの工夫例	澁井 実

## 第5章 病院における管理・運営

斎藤和夫, 斎藤祐美子

<b>1</b>	人事・人材	86
<b>1</b>	採用計画・採用	86
	1) 採用計画とは 2) 採用・募集の時期および募集方法 3) 選考方法	
<b>実例</b>	➤ ⑥ PT・OTを必要数採用するための工夫	江口勝彦
<b>2</b>	人事考課	88
	1) 人事考課とは 2) 評価を行う指標 3) 個別目標設定と個別面接の具体的手順 4) 注意すべきこと	
<b>3</b>	労務管理	90
	1) 労務管理とは 2) 入退職に伴う労務管理 3) 労働時間や休憩などの勤怠管理 4) 休暇について	
<b>2</b>	職員教育・卒後教育	93
<b>1</b>	OJT	94
	1) OJTとは何か 2) Off-JTとは何か	
<b>2</b>	院内研修	95
<b>実例</b>	➤ ⑦ 職員教育の工夫	江口勝彦
<b>3</b>	協会プログラムの利用	97
	1) 公益社団法人日本理学療法士協会 2) 一般社団法人日本作業療法士協会	
<b>3</b>	業務・情報	100
<b>1</b>	書類管理と記録	100
	1) リハビリテーション記録に関する規定 2) SOAPとPOS 3) 電子カルテ	
<b>2</b>	他職種との連携	102
	1) 医師との連絡 2) 看護師との連絡 3) 医療ソーシャルワーカーとの連絡	
<b>実例</b>	➤ ⑧ 他職種との業務調整の工夫	岡部拓大

<b>3</b>	<b>カンファレンス</b> .....	104
	1) 定期カンファレンス 2) その他のカンファレンス 3) 記録方法	
<b>4</b>	<b>物品</b> .....	109
<b>1</b>	<b>機器の保守点検・安全管理</b> .....	109
	1) リハビリテーション機器 2) 毎日の機器点検 3) 定期点検 4) 危険物管理・取り扱い	
<b>2</b>	<b>必要な物品購入</b> .....	111
	1) 施設基準で定められた機器 2) 機器導入方法 3) 実際の購入手続き	
<b>実例</b>	➤ ⑨ 必要な物品購入希望を経営陣に納得してもらうための工夫.....	吉川幸次郎
<b>5</b>	<b>収益</b> .....	116
<b>1</b>	<b>診療報酬制度の基礎知識</b> .....	116
	1) リハビリテーション料の一般事項 2) 疾患別リハ料体系と各疾患別リハ料の内訳 3) その他のリハ料 4) リハビリテーションにかかわる計画書 5) 加算料・指導料 6) その他	
<b>2</b>	<b>収益構造</b> .....	125
	1) リハビリテーション部門における収益 2) リハ部門における原価 3) リハ部門の損益例	
<b>実例</b>	➤ ⑩ 収益確保の工夫.....	小林聖美
<b>3</b>	<b>精神科作業療法の施設基準・診療報酬点数</b> .....	趙 吉春 127
	1) 精神科作業療法に関する施設基準 2) 保険医療機関内で実施される精神科作業療法などの診療報酬点数	
<b>6</b>	<b>臨床実習</b> .....	131
<b>1</b>	<b>年間受け入れ人数の設定</b> .....	131
<b>2</b>	<b>指導の実際</b> .....	131
	1) 実習受け入れ前の準備 2) オリエンテーション 3) 診療参加型実習	
<b>3</b>	<b>コミュニケーション</b> .....	134
	1) 実習生に対する対応のポイント 2) 養成校との連携について	
<b>実例</b>	➤ ⑪ 臨床実習指導者の負担軽減のための工夫.....	小林聖美

## 第6章 介護保険関連施設における管理・運営

<b>1</b>	<b>人事・人材</b> .....	西田裕介，齋藤義雄 137
<b>1</b>	<b>介護保険の概論</b> .....	137
<b>2</b>	<b>通所リハビリテーションにおける管理・運営</b> .....	138
	1) 採用計画 2) 人事考課 3) 労務管理	
<b>3</b>	<b>訪問リハビリテーションにおける管理・運営</b> .....	141
	1) 採用計画（療法士） 2) 人事考課 3) 労務管理	
<b>2</b>	<b>職員教育・卒後教育</b> .....	西田裕介，河野健一 144
<b>1</b>	<b>介護保険関連施設に従事する療法士に求められる能力</b> .....	144
	1) 施設サービスの特徴 2) 在宅サービス（通所と訪問）の特徴	

2	療法士への教育	146
	1) 職場内教育の基本原則 2) 指導者の役割と必要な能力 3) 教育を受ける側の認識	
3	業務・情報	149
	西田裕介, 加茂智彦	
1	診療記録と書類管理	149
	1) 診療記録 2) 書類管理	
2	他職種との連携	151
	1) 他職種との連携における療法士の考え方 2) 看護師・介護士との連携 3) 相談員・ケアマネジャーとの連携 4) リハビリテーションマネジメント	
3	カンファレンス	155
	1) リハビリテーション会議とサービス担当者会議 2) 介護老人保健施設と通所リハビリテーションにおけるカンファレンス	
4	物品	157
	西田裕介, 臼井晴信	
1	必要な物品	157
	1) 心血管系リスク管理のための物品 2) 健康管理のための物品 3) 対象者の移動補助のための物品 4) 評価に用いる物品 5) リハビリテーションに用いる物品	
2	物品の保守点検	160
	1) 物品の保守点検のために必要なこと 2) 各物品の保守点検	
5	収益	162
	西田裕介, 鵜澤寛伸	
1	介護報酬の基礎知識	162
2	収益構造	164
	1) 訪問リハビリテーション費 2) 通所リハビリテーション費 3) 介護老人保健施設 4) 各サービスの収益例	
6	臨床実習	173
	西田裕介, 竹内真太	
1	年間受け入れ人数の設定	173
	1) 介護保険関連施設の特徴から捉えた臨床実習受け入れ人数 2) 今後の臨床実習受け入れ人数	
2	指導の実際	174
	1) 臨床実習の目的 2) 臨床実習指導の実際	
3	実習生とのコミュニケーション	175
	1) 実習中のコミュニケーション 2) 実習生の理解度の確認や思考過程の指導のためのコミュニケーション 3) ハラスメントの予防	
4	養成校とのコミュニケーション	176

## 第7章 卒前教育における管理・運営

大西秀明

1	学科（専攻）の立ち上げ	177
1	大学の学部・学科の立ち上げに関する法律	177
	1) 教育基本法 2) 学校教育法 3) 学校教育法施行規則 4) 大学設置基準	

<b>実例</b> ▶ ⑫ 学科（専攻）の立ち上げ時に気をつけること	齋藤昭彦
<b>2</b> 理念とポリシー	184
<b>3</b> PT・OT 学校養成施設に関する法律	185
1) 理学療法士及び作業療法士学校養成施設指定規則	
2) 理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン	
<b>実例</b> ▶ ⑬ 講義運営において気をつけること	芳野 純
<b>4</b> 教員採用（学科立ち上げ時）	191
<b>5</b> 受験生確保と定員管理	191
<b>実例</b> ▶ ⑭ 他職種との業務調整の工夫	吉川幸次郎
<b>6</b> 実習施設確保	192
<b>2</b> 教員人事	193
<b>1</b> 教員の採用	193
<b>2</b> 業績評価	193
<b>実例</b> ▶ ⑮ 教員人事について配慮すべきこと	齋藤昭彦
<b>3</b> 臨床実習	195
<b>1</b> 実習の種類	195
<b>2</b> 1 単位の時間数	196
<b>3</b> 実習施設	196
<b>4</b> 実習方法と単位認定	196
<b>実例</b> ▶ ⑯ 臨床実習運営において気をつけること	村上幸士
<b>4</b> 国家試験対策	197
<b>1</b> 受験資格	197
<b>2</b> 必要な書類	197
<b>3</b> 書類の受付期間と受験手数料	198
<b>4</b> 筆記試験	198
<b>5</b> 合格基準	198
<b>6</b> 各養成校における現状	199
<b>実例</b> ▶ ⑰ 国家試験対策の工夫例	水島真由美

## 第8章 その他の管理・運営

<b>1</b> 研究室における管理・運営	桐本 光	201
<b>1</b> 研究室とは		202
<b>2</b> 研究費		203
1) 大学からの運営交付金	2) 競争的研究資金	3) 大学院生を支える研究資金

<b>3 研究倫理</b>	205
1) 倫理審査 2) 被験者の保護 3) 個人情報の保護とデータ管理 4) 動物実験における倫理 5) 研究における不正	
<b>実例▶ ⑱ チームで研究を進め論文を出すために大事なこと</b>	武田湖太郎
<b>2 会社における管理・運営</b>	山口 剛 209
<b>1 起業の準備</b>	210
1) 起業分野の絞り方 2) 許認可・法規制のチェック 3) 起業資金を集める	
<b>2 事業計画書の作成</b>	213
1) 顧客ターゲットの選定 2) 市場・競合調査 3) 事業計画書をつくる	
<b>3 資金計画をつくる</b>	214
1) 創業融資 2) エンジェル投資家・ベンチャーキャピタルからの出資 3) 友人・家族に頼る	
<b>4 起業計画の具体化</b>	218
1) 起業時の組織形態・機関設計 2) 起業する場所を決める 3) オンラインの集客 4) オフラインの集客	
<b>5 起業（会社設立・個人事業）</b>	219
<b>6 事業開始（起業1～3カ月後）</b>	220
1) 起業後の税務署への届け出 2) 創業融資の正式申込 3) 従業員を雇う 4) 集客開始	
<b>実例▶ ⑲ 起業の心得</b>	木村修介
<b>3 NPO法人における管理・運営</b>	高橋章郎 222
<b>1 NPO法人とは</b>	222
1) NPOとは 2) 特定非営利活動法人とは 3) 特定非営利活動促進法 4) 特定非営利活動とは	
<b>2 PT・OTがNPO法人を運営する意味</b>	224
1) 超高齢社会 2) つながりが大切	
<b>3 NPO法人運営の実際</b>	225
1) 役員 2) 総会 3) 事業報告書などの情報公開と所轄庁への提出 4) 定款変更 5) 合併・解散 6) 納税義務	
<b>実例▶ ⑳ NPO法人運営において大切なこと</b>	野々垣睦美

## 巻末付録 管理学を学ぶために

横塚美恵子

<b>1 大学院進学</b>	230
<b>2 日本理学療法士協会・日本作業療法士協会関連の研修会</b>	230
<b>3 学会</b>	231
<b>● 索引</b>	233